

JR 高岡駅・高岡市連携推進会議の設置について

本年開設 110 年を迎える JR 高岡駅は、全国から高岡市を訪れる方々の玄関口である。高岡市のイメージを良好かつ効果的にお伝えするとともに、高岡市への来訪者に対する「おもてなしの心」を表し、目的地へ円滑に誘導するため、高岡市にとって JR 高岡駅は重要な施設である。

また、JR 各駅における観光情報の発信は、高岡市への誘客に非常に有効な PR となる。

平成 21 年の開町 400 年記念事業さらには、新しい駅の整備を見据えながら、高岡市が、JR 高岡駅の協力を得て、現在の JR 高岡駅等を活用した高岡のイメージアップ策や観光客誘致に取り組むための具体的方策について協議するため、連携推進会議を設置する。

1 連携推進会議及びワーキンググループの概要

(1) 設置日 平成 20 年 6 月 5 日

(2) 会議の構成

名 称	メンバー構成
JR 高岡駅 ・高岡市連携推進会議	(JR 側) 高岡駅長 金沢支社営業課長 北陸地域鉄道部営業代理 (市 側) 都市経営課長 開町 400 年記念事業推進室長 観光戦略室長 地域安全課長 駅周辺・新幹線対策課長 (関係団体) 高岡市観光協会事務局長
	【おもてなしの心ワーキンググループ】 JR 高岡駅若手社員 市観光協会若手職員 市関係課若手職員等 10 名程度

2 協議事項等

- (1) JR 高岡駅における来訪者に対する「おもてなしの心」の表現
- (2) JR 高岡駅と高岡市との連携による観光情報の発信と誘客方法
- (3) 観光振興における JR 高岡駅と高岡市の役割分担
- (4) その他、JR 高岡駅と高岡市との意見・情報交換

3 スケジュール

- 6 月 5 日 第 1 回会議の開催、ワーキンググループの設置(ワーキングは 5 回程度開催)
- 7 月下旬 ワーキンググループ調査結果の報告
- 8 月上旬 第 2 回会議の開催(対応策の審議)
- 10 月以降 対応策の実施